

緑 化 通 信

2022
10月25日
(年7回25日発行)
第495号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03) 3586-7361 FAX.(03) 3586-7577
URL : <https://www.ueki.or.jp/>
E-mail : honbu@ueki.or.jp



購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

(一社) 日本植木協会

令和4年度 都道府県別緑化樹木 供給可能量調査 結果報告

【調査結果の概要】

2022年度の供給可能量は3,767万本となり、対2021年度(3,990万本)比94.4%と4年連続の減少となっている。

針葉樹2の割合を保っている。

低木常緑樹ではサツキ

230万本(低木常緑樹全体の33%)、ヒラドツツジ

104万本(同15%)、オムラサキツツジ102万

本(同15%)、キンメツゲ

31万本、ボックスウッド24

万本が上位5樹種を構成している。サツキは2018

年度まで400万本台、19・20年度に300万本

台、21年度より200万本

台へ供給力を下げている。

なお、GCPのタマリユ

ウは鉢径7.5cm、5芽

立の規格の他に、マット

栽培による供給(露地

7,000㎡、コンテナ約

21,600㎡)も行われ

ている。

2022年度の総数は前

年度に対し5.6ポイント

減少となり、対2021年

度は比露地物93.3%、コ

ンテナ物94.9%とどちら

も減退している(図-2)。

2022年度コンテナ栽培

物の対前年度比の内訳は、

樹木90.8%、GCP96.9%

となつていていることか

ら、主にコンテナ栽培物の

樹木の減産が全体の動きに

影響している。

【需要の動向】

「建設工事施工統計調

査(国土交通省)による

と、2020年度の造園工

事完成工事高は6,981

億円、前年度比35.2%と

大きな増加となっている。

このうち、造園工事業種が

元請で受注している金額は

3,834億円とこちらも

前年度に比べ51.2%の飛

躍的な増となる。ただし、

公共工事の全体的状況

を、「公共工事前払金保証統

計(北海道・東日本・西日本

建設業保証(株)によって検

討する。2021年度の件

数は231,514件、前

年度に比較し5.2%の

減、請負金額は14兆503

億円、前年度に比べ8.6%

減となっている。発注

者別では、市区町村が最も

大きく件数で45.9%、請

負金額で33.8%を占めて

いる。2番目は都道府県が

各々41.9%、31.7%と

なる。地域別には、関東の

ウェイトが大きく件数で

21.3%、請負金額で25.6%

を占める。

造園植栽工事に結びつき

の強い公園および道路工事

の請負金額について、道路

部門は4兆867億円、対

前年度比98.7%と減少、

公園部門は4,687億

円、対前年度比90.2%で

やはり減少となる。

「全国屋上・壁面緑化施

工実績調査(国土交通

省)によると、2020年

に約19.9haの屋上、約

5.8haの壁面が新たに緑

化された。これまでの累積

で、屋上は約535.8

ha、壁面は約108.5ha

が整備された。建物用途別

にみると、累積で屋上は住

宅/共同住宅(110.6

ha、20.0%)、教育文化

施設(73.5ha、13.3%)

、商業施設(71.3

ha、12.9%)が上位を占

めている。壁面は商業施設

(30.1ha、27.5%)、

工場・倉庫・車庫(17.3

ha、15.8%)、教育文化

施設(12.1ha、11.1%)

の順となる。

屋上緑化に使用される植

栽材料の形態別累積面積を

みると、セダムを主に植栽

25.6%(137.0ha)、

芝生を17.7%(94.9

ha)、その他草本10.6%

(56.6ha)などである。

一方、壁面緑化の累計面積

は、やはりツル性植物を主

73.5%(79.8ha)、ツ

ル性を除く草本を主8.8%

(8.1ha)、ツル性

を除く樹木を主4.1%

(4.4ha)となる。

「建設工事受注動態統計

調査(大手50社)(国土交

通省)をもとに、民間の建

築・土木工事の動向を把握

する。2021年度の受注

高は10兆9,267億円、

民間工事は、製造業、サ

ービス業、運輸業、郵便業等

が増え、前年度比8.2%

の増、3年ぶりに増加し

た。

図-1 形態別の供給可能量(単位:千本・鉢)

[2022年度:37,674千本・鉢]



図-2 露地・コンテナ栽培の推移(単位:千本・鉢)



図-3 発注者別元請完成工事高の推移(単位:億円)

令和5年 通常総会のご案内

開催日 令和5年1月25日(水)

会場 ザ・ニューホテル熊本

熊本県熊本市

コンテナ部会通常総会

開催日 令和5年1月26日(木)

会場 熊本県熊本市内

青年部会通常総会

開催日 令和5年2月8日(水)

会場 ホテルクラウンパレス浜松

コンテナ農場(100万本生産)

コンテナ農場

カンツバキ赤花と白花

オリーブ

(株)瀬戸内園芸センター

愛媛県今治市旦甲 248-1

TEL 0898-48-0010(代)

FAX 0898-48-8187

<http://www.setoen.com/>

E-mail : setouchi@setoen.com

緑は地球を救う

第14回環境緑化樹木識別検定 資格認定委員会開催

令和4年9月7日(水)、協 横浜国際園芸博覧会の準備 会会議室において環境緑化 態勢が本格始動する中、樹 木調達に関する当協会への 資格認定委員会は7月9日 に出に実施した樹木識別検定 (100種の樹木について 枝葉だけを見て正しい名前 を答える検定)の点数に応 じて級位を認定する委員会 です。会議の冒頭、涌井史 郎委員長は3年振りとなる 樹木識別検定実施の意義を 述べると共に、2027年

今年度で14回を数える環 境緑化樹木識別検定は20名 名となり、また今年度から 40点未満の方3名に対して 新たにチャレンジコースを 設定しています。

99点の最高点を記録され たが(有)鵜飼農園の鵜飼勇 希さんでした。検定結果に ついて鵜飼さんからは「散

点と高い水準を記録しまし た。

委員会では検定の採点結 果を検討し、級位を認定し ました。今年度は20名の受 検者のうち、1級(80点以 上)6名、2級(70点以上 80点未満)6名、3級(60 点以上70点未満)3名、初 級(40点以上60点未満)3 名となり、また今年度から 40点未満の方3名に対して 新たにチャレンジコースを 設定しています。

今年度で14回を数える環 境緑化樹木識別検定は20名 名となり、また今年度から 40点未満の方3名に対して 新たにチャレンジコースを 設定しています。



資格認定委員会の審議風景



真剣な眼差しの樹木識別検定試験

■環境緑化樹木識別検定実施委員会の今年度の活動まとめ

★樹木識別ポイント講習会

第1回6月10日(金)、会場：日比谷公園緑と水の市民カレッジ、参加者：26名
第2回6月24日(金)、会場：日比谷公園緑と水の市民カレッジ、参加者：28名
講師：川原田邦彦、吉澤信行、山崎隆雄

★第14回環境緑化樹木識別検定

7月9日(出)、会場：東京都大田区産業プラザP10、受検者：20名
★令和4年度樹木医研修 樹木識別のポイント(講義と試験)
1期10月7日(金)、会場：ホテルマークワンつくば研究学園
2期10月21日(金)、会場：ホテルマークワンつくば研究学園
講師：川原田邦彦、吉澤信行、山崎隆雄、八木峰夫

賛助会員紹介

(株) 阪中緑化資材

地球にやさしい緑化資材
夢創りに取り組むサカナカ

〒649-6124
和歌山県紀の川市 桃山町市場 269-1
TEL 0736-66-2201
FAX 0736-66-2172
e-mail: srs@sakanaka.co.jp



平素は、会員の皆様には、大変お世話になって居りますことと有難く厚くお礼申し上げます。

当社は、昭和22年に創業した阪中種苗園を起源として昭和62年8月に緑化資材のメーカーとして創業致しました。

緑を育む産業の一端を担う企業として製品をお客様に供給して参ります。

緑化資材のメーカーであるサカナカがこんな商品を取り扱っていることを存じでしょうか。

【ポットレスコンテナ230】



「ポットレスコンテナ230」は、山林用の育苗コンテナで当社の特許製品「空中ポットレストレー」と同様に、ポットの側面に設けた縦スリットの効果で根が巻かず(根のルーピングなし)細根が2倍から3倍以上多くなります。

また、ポット内に縦にリブを設けることで縦根がしっかり入る健全な苗が育苗できます。

1トレイ4列×6列の24穴で、各ポット部の直径が55mm、深さ130mmで1株当たりの培土量が230ccとなっており、スギやヒノキだけでなく種子の大きい落葉広葉樹の直播種ができます。

「マルチトレイ洗浄機」

「マルチトレイ洗浄機」は、当社の「ポットレスコンテナ230」やマルチキャビティコンテナのような背の高いトレイを強力な水の噴射により洗浄することが

「大型硬質ポット」

「お洒落なコントンシリーズを」

「緑化資材はお任せください」

「ジェイカムアグリ」

「緑化資材はお任せください」



熱を帯びるポイント講習会風景

策に出かけた時はこの木は何だろ?と見る癖が習慣になっており、暇があれば樹木図鑑を開いています。何とか結果が伴って良かったです」と喜びの声をいただきました。加えて鵜飼さんは「講師先生方は樹木の生産や扱い方の知識が豊富です。私はそこがまたたなのので、今後は実践的な知識をより身につけていきたいです」と抱負を語りました。

造園6団体などから成る樹木識別検定資格認定委員会では、これまで試験樹木の選定や採点を担当していた濱野周泰副委員長が今年度で退任され、後任に内田 均東京農業大学地域創成科学科教授が就任することとなりました。

環境緑化樹木識別実施委員会では検定の1級・2級合格者を対象に次のステップです。

プロとして「造園樹木士」の資格認定研修・試験の導入を図りたいと考えており、今後具体化の動きを示す所存です。



有鵜飼農園 鵜飼勇希さん

造園6団体などから成る樹木識別検定資格認定委員会では、これまで試験樹木の選定や採点を担当していた濱野周泰副委員長が今年度で退任され、後任に内田 均東京農業大学地域創成科学科教授が就任することとなりました。

環境緑化樹木識別実施委員会では検定の1級・2級合格者を対象に次のステップです。

プロとして「造園樹木士」の資格認定研修・試験の導入を図りたいと考えており、今後具体化の動きを示す所存です。

プロとして「造園樹木士」の資格認定研修・試験の導入を図りたいと考えており、今後具体化の動きを示す所存です。

プロとして「造園樹木士」の資格認定研修・試験の導入を図りたいと考えており、今後具体化の動きを示す所存です。

プロとして「造園樹木士」の資格認定研修・試験の導入を図りたいと考えており、今後具体化の動きを示す所存です。

ルポ

シリーズ 社園さん紹介 No.14

宇賀神緑販(株)

栃木県(鹿沼市)

宇賀神緑販(株)さんは、現在、緑化木の生産と、葡萄作りからワイン販売までを行っています。会長の趣味で始めた葡萄作りが、20年目の今ではワインの醸造機も購入して本格稼働。ここまできたら後には引けないと言う。また従業員さんは、植木もワイン作りも全ての作業をこなすというユニークなスタイル。今回はそんな宇賀神緑販(株)さんをご紹介します。

協会では、宇賀神さん=ワイン！というイメージがありますね？

社長の宇賀神 朋さん：「そうです。近所の人には、うちはワイン屋さんだと思われています。(笑)。実は創業50年程の植木屋で、緑化木が85%、ワイン作りが15%で、民・官工事、レンタルグリーンも従業員16名で行っています。緑化木は地モノの落葉樹が全般で、葡萄畑は2か所で3.5ha程です。鹿沼地域は植木生産が盛んで、なんといっても全国的に有名な“鹿沼土”



ワインの醸造機

で土に恵まれています。でもここは栃木県なので冬場は地面が5cm位凍ってスコップが刺さらないので、ツルハシでガンガン叩いて作業する日が年に5日程あります。…関東でもだいぶ冬は寒いのですね。

ワイン作りはいつからですか？

宇賀神さん：「親父の趣味で始まり、20年前から本格的な今の垣根のような葡萄畑になりました。葡萄は棚の上に房が実るより、海外のように手元に房がある方が、作業効率がいいのです。元々植木屋ですから、生産のノウハウもあるし植木の機械も流用できたので以外と早く出来ました。



里山学校



取れたてのシャルドネ

このポスターの里山学校とは？

宇賀神さん：「当初から葡萄畑で里山学校として毎年150人位の方に農業体験をしてもらっています。これが大人気！一般の方に募集をして畑仕事をもらい、お礼として収穫した葡萄とワインセットを差し上げています。6月の作業は、つるを垣根にする作業や、葡萄の周りの葉を取り除き、葡萄に日がよく当たるようにします。8月は収穫作業なので欠席者は0です(笑)。子ども達は、飽きてくると虫取りしたり小川で遊んだりと楽しんでます(笑)。他県からも来ています。…私も参加したいです。まさに協会の緑育ですね。

里山学校を開催するのは大変ですよね？

宇賀神さん：「私は素直に面白いです。終了後にはドットと疲れますが、従業員さんも楽しんでくれています。生産者側も色々な発見やヒントをもらいフィードバックが出来ます。また、里山学校の方たちがSNSで発信してくれて宣伝活動もしてくれるので有難いです」(笑)。

従業員さんの働き方の工夫とかは？

宇賀神さん：「最終的な責任は私ですが、各部門に責任者を決めています。その責任者も他部門の作業をします。だからミーティングはきっちりやります。会社に来て言われた通りの作業をするだけではつまらないはず。うちは、一人の従業員が植木もワイン作りの仕事もしますし、男性も女性も力仕事以外は区別していません。季節的にも夏はワイン作り、冬は植木とメイン作業が被らないのですが、9月だけは植木の出荷も多く葡萄の収穫もあり忙しいです」。

休日は何をしていますか？

宇賀神さん：「父親なので基本子どもの面倒です。大学生、中学生、末っ子はまだ小学1年生です。昨日は地元の音楽フェスに3人連れて行ってきました。以前はPTA会長を10年も努めていました(笑)。長男も後を継ぐ気でいてくれるので、バトンタッチするまでに少しでも苦労しないようにワイン事業も大きくしていきたいです」。



会長の宇賀神喜一さん

葡萄畑で会長の宇賀神喜一さんに

会長が趣味で初めたワイン作りですよね？

会長の宇賀神喜一さん：「子供の頃に親が葡萄を作っていて、私が50歳半ばになった頃、何となく葡萄が食べたくなって作ったのがきっかけです。想像以上に収穫が多く、一気に作って一気に収穫して完成！という効率のよい方法を考えた解決策がワインです。最初は醸造のみ委託していましたが、出来るだけ関税が低い国から醸造機を輸入して全て醸造しています。醸造すると約2週間でワインは出来ませんが、円やかにするために一冬以上は寝かしています」。

会長、今後に向かっては？

「そろそろ生産に限界が近づいているので、管理能力をあげて生産管理していきたいです。葡萄畑が3ha弱で、葡萄を25t収穫出来て3万tワインが出来れば独立採算できます。…さすが協会の経営コンクールに2度も授賞された経営観です。

喜一さん：「今後は本腰を入れて、植木とワイン作りの“二足の草鞋”でなくて一足一足を独立させないと中途半場になってしまいます。

葡萄は正直です。天候に左右されやすくて日本の気候に合わないものばかりだから、“努力なくて、やっぱり成果はないんです”。…いやいや、年の功でいい事言っちゃった(笑)。この言葉は私の心にも響きました。

どんな仕事が好きですか？

村澤さん：「収穫が一番楽しいです。親戚に“これ、オレが作ったんだよ！”とか自慢したりして渡してます(笑)」。



従業員さんの左から蓮田さん、村澤さん



緑化木の畑



葡萄畑

蓮田さん：「私も“私が摘んだとか、瓶に詰めた”とかも」。(笑)何でもそうですが、形があると実感が湧きます」。

どんなことに気を付けてますか？

蓮田さん：「発酵途中の微妙な温度に気を付けています。また早く選別してタンクに入れた方が美味しいワインが出来ますが、一番はいい葡萄を作ることです。そこに尽きます」。

入社何年目ですか？

菊地さん：「20年以上です。外で働く仕事が好きですし、体を動かしたり緑に囲まれてることも好きです。掘り取り、葡萄の収穫、ワイン作り、グリーンレンタルや色々な仕事出来ることも楽しいです。私も2トントラック乗って遠くまで集荷にも行きますし、一番好きな作業は掘り取りして根巻です」。…きゃしゃな体形なのにびっくりです。後ろで宇賀神さんが“うちはホワイト企業や！”と笑っていましたが、正にその通りだと思います。



菊地さん



売店の中山さん

お売りする時、どんなことに気を付けていますか？

中山さん：「ワイン作りで20年が経ち、毎年8種類を醸造しますので、何年モノと毎年増え、甘口辛口等もあるので結構な種類になります。その中で、お客様の些細な言葉やニュアンスから、どのような風味のワインが好みか考えてお薦めすることが難しいですが、それもやり甲斐です」。…ワインは奥が深そうです。帰りにいちごワインを頂き、甘く酸味のある白ワインは絶妙な美味しさで私も“かぬま里山わいん”の大ファンになりました。ありがとうございました。



奥様が並べたオブジェ



手作りワインの説明



ジュースやアイスやゼリー等の加工品も販売。地域活性化のため、音楽会、絵画、ガラス工芸等の展示会も開設している。

青年部会だより

SDGs
「植木生産における持続可能な
栽培に向けた取り組み」

井上 致伸

(井上青華園・熊本県)

SDGs「持続可能な開発目標」というフレーズが2015年から掲げられ、巷に言葉だけは浸透しつつある昨今となりました。

課題の一つが配合土の資材の見直しです。以前はピートモス・パライト・赤土を原料に配合してしま

した。しかし、これらの資材にはランニングコスト・製造コスト・原料採掘などを

見ると、環境に配慮しているとは言いがたい。資材といえ

るのか？意味はあるのか？など、実行に移すにはいろいろと考えることがあ

ります。今回は熊本の片田舎で、一因となるので使用してい

ないことを明記している」



青年部会研修会福岡にて 右手前が井上さん

と聞きました。

これらの資材は有限であ

り、輸入に依存するところ

もあります。価格が高騰す

る可能性が高く、持続可能

な緑化樹木生産を行ってい

く上では、見直しが必要で

あると考えました。そこで

目をつけたのが材木加工時

に出る杉の皮を加工したバ

ーク堆肥、近所のJAから

出る粉殻を加工したくん

炭、そして最近縁があ

り、共同で実証実験を行っ

ている浄水場から発生した

浄水発生汚泥の使用です。

浄水発生汚泥とは、川か

ら飲み水に精製する際、沈



土は有効利用が進んでいま

せん。理由として含水量、

粒度が一定しないことがあ

げられます。

有効利用されていない残

りはすべて産業廃棄物とし

て有償にて処分されてお

り、その費用は全て水道代

でまかなわれています。持

続可能な保全のためにも、

多額の処分費を少しでも減



この浄水発生土は、水は

けがよく、保水力がありま

す。また、固まりにくく根

張りがよい、粒度が不均一

というのも植物の栽培上は

有効だと思います。これを赤

土の代わりに使用していま

す。現在、これまでも遜色

なく生育が来ています。

また、ピートモスの代わ

りとして、杉皮バークを使

に自家製のモミガクン炭

を配合します。地元は稲作

地帯ということもあり、毎

年11月には大量のモミガラ

が出ます。これの処理に苦

慮されていたJA職員から

相談を受け、全量有償買取

りを行っています。モミガ

ラクン炭はPH7.8とア

ルカリ性土壌改良剤であ

り、上記の杉皮バークとの

「今まで価値を見出されていなかったもの」に価値を見出していくことは持続可能な社会につながっていくことだと思います。余っているなら、ただでもらって「こればいい」との声もあるかと思っています。しかし、足元を見た買い叩きの社会は持続可能な社会とは程遠いものであると思います。持続可能な社会の一員となるためにも、現在の作業・製造工程、原材料など一つ一つに意味を持たせ、理解してもらう。そうすることで行政・企業・消費者・雇用者などの協力を得ていくことが求められてくるのではないのでしょうか。

「植木業界はこれからの社会に対して必要な業界である」と認知させていくことが、これからの我々の課題であり使命ではないかと考えています。

様々な社会の変化に伴い、激動の時代の真只中であると私は感じています。この局面をいかにして乗り切っていくのか？植木業界だけでなく日本情勢・世



素描挿話。

～すてきな花達に魅せられて

⑬ナナカマド

小岩井農牧(株) (岩手県)
たさ 足澤 匡

「ナナカマドSorbus commixta」は、ご存じの通り、日本全土の冷温帯の山地に自生する落葉広葉樹で、北海道や東北地方では、街路樹や公園樹などとして植えられています。ナナカマドの魅力は、なんと言っても、赤く染まる紅葉と果実ですが、葉が緑色のうちに果実が赤くなるので、そのコントラストも楽しむ事ができます。また、赤い果実は落葉後も、しばらくの間、枝に残っていて、本格的な冬の寒さに当たることにより、野鳥の餌になるようです。しかしながら、「播種する場合には、未熟な果実を使いなさい。」と言われた事を思い出しました。ナナカマドの種子は、果実が完熟すると、休眠スイッチが入ってしまうそうです。他の植物でも、この休眠スイッチの作用で発芽が

遅くなったり、種子が腐食することなく眠り続ける事が出来るのです。不思議ですね。

また、ナナカマドは燃えにくい。七回、竈(かまど)に入れても燃えないから、ナナカマド(七竈)と呼ばれるようになった。と、教わりましたが、しっかりと乾燥させた材は、火力が強く、とても長持ちするらしいです。また、ナナカマドの木炭は備長炭の代用として使うほど良質だそうです。材が堅く、炭焼きの窯に七日間入れなければ木炭にならなかったのが、「七日かまど」が語源であるという説もあります。

さらに、ナナカマドの仲間には、葉の裏に錆(さび)色の毛がある「サビバナナカマド」、高山に自生し、低木性の「ミヤマナナカマド」や「ウラジロナナカマド」などがありますが、ナナカマド属の近種であるアズキナシ属(かつては、ナナカマド属)には、単葉である「アズキナシ」や「ウラジロノキ」などがあります。30年位前、上司に「リクチュウナナカマド」の葉を見せてもらった事があります。葉の基の方はナナカマドの葉のように羽状複葉(うじょうふくよう)なのですが、葉先に進むにつれ、次第に小葉が合着し、羽状複葉と単葉が交じり合った不思議な形に、とてもびっくりした事を覚えています。調べてみると、「リクチュウナナカマド」は、「ナナカマド×ウラジロノキ」でしたが、「ナナカマド×アズキナシ」もあり、総称「ハゴロモナナカマド類」として扱われているようです。ナナカマド属とアズキナシ属の異属間交雑という事になりますね。

いろいろと書きましたが、自然は不思議です。植物に対する興味は尽きませんね。だから、楽しいです。



岩手県八幡平市安比高原にて

コンテナ部会

農業分野のロボット導入事例に
関する勉強会を開催



講師の株MOGITATe
北河博康氏

歴任され、特に農業分野の生産性改善を目指したロボット活用について幅広い知見を有されております。

北河氏が得意とされるところは、各業界の様々な

コンテナ部会は7月20日、(株)MOGITATe代表取締役社長の北河博康氏による「二次産業へのロボット導入事例にみる」と題した対面、オンライン併用の勉強会を開催しました。

北河氏は三井住友海上火災保険(現MS&ADイン

シユアランスグループの中核会社)で長く販売戦略・商品サービス開発等の業務に従事されました。平成23年より霞が関の中央省庁や地方自治体への提案活動をする中、経済産業省の

ロボット革命イニシアティブ協議会コアメンバー等



講演会スライド(トマト収穫ロボット)



挨拶する吉澤信行コンテナ部会長

また新型コロナウイルスにより業績が悪化した中小企業の資金繰りを支えるため「実質無利子・無担保のゼロゼロ債」の融資が行われ債務が増えた会社があり、そして今年からゼロゼロ債融資の返済が始まりました。ゼロ債融資により過剰債務となった会社の中には返済が出来ず6月時

す。

勉強会ではこの他、「運搬ロボット」「水管理ロボット」「ドローンによる種蒔直播」「草刈ロボット」「森林3次元計測システム」(㈲大坂林業で導入している「協働型ロボットによる苗木生産システム」なども紹介されました。

質問コーナーでは、ロ

地方かわら版

緊急事態

今から始まる大激変の時代

(株)みちのくビオトープ認定農業者・岩手県

大激変の時代を乗り越えて行く準備は出来ていますか?備えあれば患いなし。2021年4月の通常国会で産業競争力強化法等の一部を改正する法案と、銀行法改正法案が改正になりました。また、21年11月の日本経済新聞に2022年から2023年にかけて中小企業が激減することになる、その事を金融庁や経済産業省の官僚さんたちが中小企業の崖の時代と言って大変に心配しているそうです。

また新型コロナウイルスにより業績が悪化した中小企業の資金繰りを支えるため「実質無利子・無担保のゼロゼロ債」の融資が行われ債務が増えた会社があり、そして今年からゼロゼロ債融資の返済が始まりました。ゼロ債融資により過剰債務となった会社の中には返済が出来ず6月時

日本の全事業所 約30%が債務超過

社会保険に加入していない会社が大変に多い
日本植木協会の会員会社組織の内訳
株式会社 127社園
有限会社等 181社園
個人事業主 123社園
大激変の時代、このままでは金融庁や経済産業省の官僚さんたちが言っている通り中小企業が激減する「中小企業の崖の時代」になります。「中小企業の崖の時代」を乗り越えて行くには今までの考えた方を少し変えて頂く必要があります。考え方を少し変えて頂くだけで中小企業の壁の時代を簡単に乗り越えて行くことが出来ると思います。

そして日経新聞の8月16日の全国約9割の地方銀行が6月末時点で抱える主に外国有価証券や投資信託の含み損が1兆円を突破し含み損を抱えた地方銀行の自己資産が目減りするため、今まで通りの借り換え融資や新たな貸し付けが難しくなる事になり、さらに自己資本を取り戻すため貸しはがしを行う場合もあると思

個人経営から(株)農業生産法人に
有限会社から(株)農業生産法人に
株式会社から(株)農業生産法人に
農業経営改善計画認定(認定農業者)
社会保険に加入
資本金1000万円以上
自己資金比率15%以上
キャッシュレス化(カード決済システム)
バランスシート会計 大福帳会計

・(株)農業生産法人
農地を使用する事が出来る農地を取得も出来る
政府系金融機関から低利(実質無利子)で長期の資金が借りられる
政府の職業分類では造園業も農業(花卉作農業)なのです。
・借入金謎
ほとんど経営者が気づいてない、ずっと黒字決算としてまた銀行の返済予定表

・大激変の時代また法改正に対応した強靱な植木屋さんか!



の通りに借入金を返済して解ったのはつい最近です。法改正に伴い今まで中小企業に對してのローンの適応が猶予され過ぎてしました、法改正に伴い、ルーの適用となります。今のままでは植木屋さんの経営を続けて行くことが難しくなります。令和の時代に適した植木屋さんの経営の勉強会をしたい方、農業生産法人に興味があり作ってみたい方はご連絡ください。

ナショナルプランツ コレクション*

高津進一 高敬植木園 (愛知県) ☎0563-54-5353

日本列島植木植物園

トックリキワタ

学名 *Ceiba speciosa*
(*Chorisia speciosa*)

アオイ科ケイバ属に分類される落葉高木です。

南米のスペイン語圏では、『パロ ボラッチョ (palo borracho: 酔っぱらいの樹)』、沖縄では『南米ざくら』と呼ばれています。若木は幹全体に棘が生えますが、50年ほどすると幹の下部が徳利のように太りだし、棘は上部の若枝のみになります。花は濃いピンク色と白色があり、樹冠いっぱい咲きます。沖縄や熱帯地方では結実しますが、本州の露地では難しく、耐寒性が弱いので、若木の露地栽培は養生が必要です。



※ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

連載「自然に想う」

第6回 「里山」から「SATOYAMA」へ

(一財)自然公園財団 専務理事 鳥居 敏 男



◆プロフィール

1961(昭和36)年生 1984年環境庁(当時)入庁。上信越高原、瀬戸内海、釧路湿原、知床などの国立公園の現場管理に携わる。本省国立公園課長、自然環境計画課長などを経て、自然環境局長を最後に2021年退職。

日本の里山

「里山」という言葉を耳にする機会が増えたように思います。そもそも里山とは、どういった場所を指すのでしょうか。一般的には、原生的な奥山と都市の間に存在し、集落とその周りの人工林、田畑、ため池、採草地など主に一次産業が営まれる地域を指して使われています。前回のテーマ「緑の国勢調査(自然環境保全基礎調査)」でとりあげた「植生図」をもとに、環境省では農地や二次林などの面積を集計し、日本の里山の面積を国土の約4割と試算しています。

里山ではモザイク状に多様な土地利用がなされ、そこを住処とする昆虫や淡水魚類、植物など多様な生き物を育みます(写真1参照)。またそれらの生き物を餌とする上位の捕食者にとっても重要な生息地となります。このように里山は人と自然が上手に共存する場所なのです。しかし日本では里山の人口減少や高齢化により、農林地の手入れが行き届かなくなって外来種が侵入したり、藪と化してもともとそこに住んでいた生き物が姿を消しつつあります。このような事態は、日本の生物多様性を維持していく上で、深刻な課題となっています。



写真1: モザイク状に様々な土地利用が広がる日本の典型的な里山の航空写真

SATOYAMA イニシアティブ

2010(平成22)年、愛知県名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議が開催されました。この会議では、条約の戦略計画として長期目標や短期目標を作成するという重要な課題がありました。それまでの生物多様性保全の考え方は、絶滅のおそれのある生き物や国立公園といった貴重な自然を有する地域の保護を如何に図っていくかが課題でした。しかし日本はこの会議で、私たちが古くから抱く「自然との共生」という考え方を新たな目標に盛り込むことを提唱しました。そして、最終的に条約の戦略計画の長期目標を「自然と共生する世界」とすることが採択されたのです。これは原生的な自然や絶滅のおそれのある野生生物の保護だけでなく、人が手を加えながら保全する二次的な自然の重要性に焦点を当てるものです。

その具体的な施策として日本が提案したのが「SATOYAMA イニシアティブ」



フランス(Terroirs)



フィリピン(Muyong)

写真2: 世界の里山的土地利用

です。これは、人が長い年月をかけて手入れをしてきた水田、畑、ため池、草地、林地などで高付加価値な作物を栽培し、地域経済にも寄与するとともに、多様な生物に住処を提供して、生物多様性の維持にも貢献する地域づくりです。実はこのような土地利用は何も日本の専売特許ではありません。世界のあちこちの国々で同じような土地利用を伴う伝統的な農業が営まれています(写真2参照)。しかしその一方で、大規模なプランテーションでは画一的な作物を生産することで野生生物の生息地が破壊されたり、深刻な土壌劣化が進んだりする事態が起こっています。

提唱当時、日本は自国の農業保護のためそのような主張を言い始めたのではないかという疑問が一部の国から投げかけられましたが、アジアやアフリカ諸国からは支持を得ることができました。保護重視ではなく、自然の持続可能な利用という視点が発展途上国に受け入れられたためと考えられます。名古屋での会議ではこの「SATOYAMA イニシアティブ」を推進するためのパートナーシップが立ち上げられ、日本や国連開発計画(UNDP)、国際NGOであるコンサベーション・インターナショナルなどが連携し、発展途上国のSATOYAMAでの高付加価値な農業の推進を支援しています(写真3参照)。パートナーシップの構成国や機関は、発足当初51だったものが今では283に及び、「SATOYAMA」という言葉が世界で通用するようになりつつあります。

名古屋での会議から10年以上が経過し、「自然との共生」という考え方は、国連で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」とも整合性が高く、いまでは世界的に受け入れられるものとなりました。しかし足下の日本の里山は、耕作放棄地や持ち主不明の山林が増加するなど危機的な状況にあります。自然と共生する国土を次の世代へ引き継ぐため、いま何をなすべきか真剣に考えなければなりません。



カンボジア(Srair-Chamkar)



写真3: 希少野生動物の棲む森の果実からジャムを生産(ウガンダ東部)(写真提供: 環境省)



ノコンギク



ノコンギク桃花



アキバギク(キヨスミギク)



シロヨメナ



シラヤマギク



カントウヨメナ(代表的なヨメナ属)

学校紹介

未来の業界を担う若者たち

熊本県立北稜高等学校 造園科

1. 学校の概要

熊本県立北稜高等学校は、県北部に位置する玉名市にあり、昭和20年に公立農業学校として開校し、昭和27年熊本県立玉名農業高等学校として独立するなど幾多の変遷を経て、平成3年に校名変更し、現在に至っています。



です。

2. 造園科の概要

今年で創立77年の歴史と伝統を有する本校は普通科、園芸科学科、造園科、ビジネス・マネジメント科、家政科学科からなる5学科の専門高校です。地域に密着した専門高校として各界のリーダーを地域に送り出し、存在感を高めていくと同時に、専門の学びを活かした地域社会の発展に貢献できる人材育成に取り組ん

「造園科」に科名変更し

「造園科」に科名変更し、存在感を高めていくと同時に、専門の学びを活かした地域社会の発展に貢献できる人材育成に取り組ん



玉名市役所内 箱庭作製



技能五輪全国大会出場



山田の藤 剪定管理

いします。

造り、公園設計などさまざまな角度から地域の活性化に向けて、景観の保全と整備について学習します。これらの学びをおして、造園的デザインを身に付け地域環境を創造できる技術と心豊かな人材を育成します。

3. 特色ある教育活動

造園科の学びを多くの人達に知っていただくため、地元を中心に庭園出展や地域の交流活動、各種競技大会への参加等に積極的に取り組んでいます。



都市緑化くまもとフェア庭園出展

平成20年度より毎年1月と5月に山田の藤保存会及び地域の方々と一緒に県指定天然記念物「山田の藤」の剪定管理を行っています。日頃、学習している造園の知識や技術を活かせる

学校近隣の保育園、小、中学校との「環境教育交流活動」では、生徒が先生役となり樹木の剪定や木材の看板づくり、真竹を活用した竹製品づくりなど体験交流を実施し、緑の大切さやものづくりの楽しさを子供たちに伝えることができました。



保育園との交流活動

高橋秀雄 様(高橋英治氏のご尊父様)
(有)第一緑化 (埼玉県)
令和4年9月19日没 享年91歳
石田三女子 様(石田弘明氏の御母様)
(有)東海農園 (愛知県)
令和4年8月29日没 享年85歳
佐土原富治 様(佐土原周二氏のご尊父様)
(有)熊本植木センター (熊本県)
令和4年10月7日没 享年86歳

村越兼人 (千葉県)
リゾートトラスト(株) 賛助会員
仲田正子 様(仲田茂司氏の御母様)
(有)仲田種苗園 (福島県)
令和4年8月19日没 享年86歳
井上一雄 様(井上友二氏のご尊父様)
植木処・井上園 (神奈川県)
令和4年8月26日没 享年87歳

会員動向

代表者変更

新 高野直樹 (有)エコライズ (千葉県)
新 濱地朋紀 太平洋マテリアル(株)(東京都)
E-mail tomonori-hamachi@taiheiyo-m.co.jp

電話番号変更

新オーセブン(株) ☎048-741-8177

会社名・代表者・住所・電話・メールアドレス変更
新 (株)ジーアール (旧 (有)井本緑化資材)
〒861-4616 熊本県上益城郡 甲佐町田口3881-5

☎096-285-4571 FAX096-285-4573
E-mail info@granks.jp

退会

(株)改良園 (埼玉県)
大門園 (千葉県)



日本列島植木植物園

ナショナルプランツ コレクション*

秋を彩る野菊

問若林芳樹 (株)アスコット ☎045-222-0215

秋の山野を彩る花の筆頭ともいえる野草の一つに野菊があります。ただし、野菊という植物は無く、一般にはキク属 (Chrysanthemum) やシオン属 (Aster)、ヨメナ属 (Kalimeris) などの植物を総称して野菊と呼んでいます。キク属は最もキクらしい種類で、秋の中頃から後半にかけて花の盛りを迎えます。シオン属とヨメナ属は開花が比較的早く9月の中頃から咲き出します。両属はよく似ていて見分けることがむずかしい種類ですが、種子 (瘦果) に目で見ても確認できる5mmくらいの冠毛がある種類がシオン属で、ルーペなどを使わないと確認できない、冠毛がほとんど無に見える種類がヨメナ属です。

今回はシオン属 (Aster) の花を紹介します。シオン属にはシオンやダルマギク、コンギクなど古くから園芸植物として栽培されている種類もありますが、それ以外の種類は土手や草原、落葉広葉樹の疎林内や林縁などに生育しています。最近は自然志向もあり、ガーデニング材料として販売されているものも見かけます。いずれも多年草で、丈夫で、明るい半日陰などの湿り気のある場所に植えれば、ランナーを伸ばして群生するので、手間がかからず、毎年秋にはかわいい花が楽しめます。



シオン



ダルマギク



コンギク

シリーズ ちょっと一息、ほっこり出来るような記事を募集しています。是非お送り下さい。

TEA TIME

連載「私の趣味」⑥

丹下 幸雄

(株瀬戸内園芸センター (愛媛県))

今回は似顔絵を紹介させていただきます。人の顔を描くのはその時の気持ちも表現しますので、とても難しいですが、時事ごとに気になった方を時折描いております。

①安倍晋三元総理大臣

先日凶弾に倒れた安倍元首相。この絵は2012年の第二次安倍政権発足後に描いたものです。安倍首相のやる気に満ちた雰囲気と、期待を込めて背景を朱赤一色にしました。お顔立ちが上品で優しさが溢れていますが、その奥に秘められた芯の強さを表現しました。ご冥福をお祈りいたします。



②渋谷日向子

2019年、日本の『スマイルシンデレラ』に世界中が熱狂しました！全英女子オープンで優勝した彼女は、見ている人もつられて笑顔になるような微笑みで、多くのファンを魅了しました。もちろん私もそのうちの一人であります。この笑顔をと表現しようとしたがなかなか本人のようにかわいらしい笑顔が描けず、3枚描いてやっと出来上がったものです。今後の活躍も楽しみです。



③オバマとトランプ

2017年、民主党のオバマ氏から共和党のトランプ氏へ政権が交代した。「イエス・ウィ・キャン」から「アメリカン・ファースト」へ。理想と現実のはざまで揺れたオバマ氏の8年間から、好き勝手しそうなトランプ氏へ。少し心配そうなオバマ氏とあとは任せておけと言わんばかりのトランプ氏を描きました。この絵はオバマ氏の気持ちに寄り添うような形で、アメリカの将来に霧が立ち込めている雰囲気を描きました。



特集

植木類に加害する外来病害虫・東京周辺の事例⑩

ナラ枯れ

樹木医 小林 明



ナラ枯れは、カシナガキクイムシ(通称カシナガ)という小さな甲虫が多数で加害することにより発生します。この虫の雌がカビの菌を持ち込んで木部にカビを発生させ、病気を引き起こします。病名は「ブナ科樹木萎凋病」と呼ばれ、カシナガが飛散して感染を広めています。コナラやクスギ、アラカシ、シラカシ、マテバシイなどのブナ科樹木に発生しますが、どういわけかブナには発生しません。

国内では本州から九州にかけて発生し、東日本ではミズナラやコナラ、西日本ではシイ・カシ類に被害が目立ちます。東京都とその周辺は、近年の発生です。



写真1 多摩丘陵のナラ枯れの例

東京都と周辺での確認が近年であるため、国内由来の外来種に当たります。東京都では八丈島と三宅島、御蔵島にカシナガが生息していますが、本土部では近年までいませんでした。筆者が東京都環境局に在職中の2010年から数年間、八丈島などでナラ枯れが広がったため、港灣部

丘陵では、写真1のように多発状態です。
【カシナガキクイムシ】カシナガは「養菌性キクイムシ」の一種で、体長が5mmほど、つやのある黒色です(写真2)。雌の胸部の背中側に通称「ナラ菌」と呼ばれるカビ菌があり、木部に侵入して坑道と排出し、樹皮や根元に白いぼい痕跡を残します。

【防除】大量に発生している樹林の様子を見ると、なすすべがないという印象ですが、以下のような防除例があります。

殺菌剤(商品名:ウッドキング、ケルスケットなど)を根元に樹幹注入する方法(写真5)や、殺虫剤(同キクイムシコロリやスミバイン乳剤など)が利用されています。成虫の数を抑える方法としてはトラップの設置があり、発生状況の把握や成虫の発生数の抑制、カシナガであることの確認に役立ちます。



写真2 カシナガ成虫と幼虫・2022年9月



写真3 集団加害とフラス

よく似た甲虫にヨシブエナガキクイムシがあり、カシナガと同じようにカビ菌を木の中に持ち込んで枯死させることがあります。この虫は、東京都内にも生息しますが、枯死させることはまれです。

【ナラ枯れの特徴】
・大径木が多い
ナラ枯れが発生する木は、ほとんどが幹径20〜30cm以上の成木で、幼木はごくまれです。枯れる木は、カシナガの「集団加害(マスマタック)」と呼ばれるように、多数のカシナガが侵入しています。幹への侵入が多く、穴の径は1mmほどで爪楊枝の先がすっぽり入ります(写真3)。穴から細かな木くず(フラス)を排出し、樹皮や根元に白いぼい痕跡を残します。

・枯れない木もある
集団加害を受けた木は、全て枯れるというわけではなく、枯れた割合が樹冠の半分程度以下の場合には枯れないこともあります。枯れなかった木の中には、翌年以降、集団加害を受けずに残っているものもあります。

・樹林地では年数をかけて被害が拡大
多摩丘陵の発生状況を見ると、年数をかけて徐々に枯木が増えていきます。かつての雑木林が手入れされなかった結果、大木が増えてカシナガには生きやすい状況になっているようです。

・なぜ近年に東京か
林野庁の資料によると、全国的なナラ枯れ発生ピークは2010年です。発生が増えた原因には、1950年代の燃料革命により薪炭林としての管理が行われなくなったことによる、という説もあります。が、東京都と周辺ではなぜ50年以上後に大発生しているのか、という点については今後の研究を待ちたいところです。



写真5 樹幹注入剤の使用例



写真4 ビニール被覆の例

枯れた木が対象で、成虫が脱出して飛散し始める5月以前に地際で伐採します。伐採後の脱出を防ぐためチップ化や焼却処分し、切り株もビニールで覆うか土をかけておきたいものです。

・ビニールや塗膜剤による被覆
侵入を防ぐ方法で、カシナガが侵入する高さは5m以上の例もありますが、侵入が多い2〜3mまでを対象に施業します(写真4)。

・薬剤、トラップ
殺菌剤(商品名:ウッドキング、ケルスケットなど)を根元に樹幹注入する方法(写真5)や、殺虫剤(同キクイムシコロリやスミバイン乳剤など)が利用されています。成虫の数を抑える方法としてはトラップの設置があり、発生状況の把握や成虫の発生数の抑制、カシナガであることの確認に役立ちます。